音信不通 本のビオトープ 第二期 第八十九号 (初版) (無料)

2023. 12. 10 定有堂書店 発行 ないこう とうがあう 人々のために 本のビオトープ

暗くなるのがはやい日記 鳥居貴彦もう四〇年になるのか―洋上での「転向」(二) 岩田 直樹遅れて読む 奈良 敏行

やさしい世界で学び直す本を作る側から (9)

虎とミナミのけったいな夜

木元

健

ビートルズつて重いのか汽水のほとりから(33)

小原

修治

萩原 俊郎

ずに受りました ビートルズって重いのか

ムラカミヒロミ

鳥取あれこれ その八十八背と腹の話 続

わたしはわすれない八代日記 (四十四)

三浦 永理

内田 克彦

ご 書 案 内

:

編集後記

ドラメリア

あきの素生

遅れて読む

奈良 敏行

(定有堂 主人)

「沫雪」へ移行した。
クリシュナが誘う戦いは終わらない。シーンは「淡雪」からだ。オブセッションが消えない限りバガヴァッド・ギーターのの仕事を戦いと思っていたのだろうか。日が暮れたのは確かの仕事を戦いさんで日が暮れて、という唄がふと心によぎる。本屋戦いすんで日が暮れて、という唄がふと心によぎる。本屋

と懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手と懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手に、定有堂の常連だった。当時彼は時々関西へ出かけ、独立に、定有堂の常連だった。当時彼は時々関西へ出かけ、独立た。その頃『最低で最高の本屋』(2003)を発見しバイブルた。その頃『最低で最高の本屋』(2003)を発見しバイブルた。その頃『最低で最高の本屋』(2003)を発見しバイブルのようにしていたが、閉店後は「遅れて読む」への投稿だった。世界へひたり始める。田口君との遭遇は何だったのだろうを表していたが、閉店後は「遅れてきては自慢していたが、閉店後は「遅れて読む」への投稿だった。世界へひたり始める。田口君との遭遇は何だったのだろうと懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手と懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手と懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手と懐かしく思い、遅ればせながら、彼が好んだその本を手としていたが、閉店後は「遅れて読む」への投稿だった。

格差が固定しはじめた頃かもしれない。そのため価値の転 テーマが本屋の中で所を得るようになっていたのだろうか。 だったということだ。『就職しないで生きるには』(1981)も にした。目についたのは「仕事と生活ライブラリー」の一冊 倒がはじまった。「身の丈」こそが尊いという考えだ。わたし 同様の主題だ。ふり返ればこの頃から「ひとと仕事」という

所属するのだろうか。本屋を終えて、「本が好き」という実

存だけが残った。クリシュナの誘いはいま三つの「読書会」に

は「初発衝動」が世の中の仕組みを変えると言い換えてみ

描写される。掘り下げていくすぐれたノンフィクションだ。 真っ先に再読する。やはり「ひとと仕事」のテーマが丹念に 「身の丈に完結している世界を、外部が解釈すると別のもの しだ。敬愛する石橋毅史さんの『本屋な日々 青春編』も 読みはじめている。十が終わって一を始めるという巻き戻 た。いつも前方を見ていたからだ。日暮れてからはつとめて 現場にあるときは本屋についての本はあまり読まなかっ

のレイヤーをもつ。わたしは「いのちとひと」に関心を寄せ 社会」「社会と政治」「政治と国家」「国家と国際社会」と階層 る。だから外部のとりまとめにはいつも違和感を覚える。 外部のナラティブは「いのちとひと」「ひとと仕事」「仕事と

「本が好きだから本屋を始めた」、これはどのレイヤーに

なかなかそこへは届かない。

になりやすい」、これは当事者の内奥の声だが、外部からは

どこから来てどこにありどこへ行く、という存在論のどん詰 と」だ。そこには人間の概念の変更をせまる思考があった。 やり直す時のはじまりを感じた。 は少し戦慄した。ひとにはすすめながら三十年自分では開 継続されている。「読む会」「ドゥルーズを読む会」「読書室ビ まりと思えた。そこでは主観の場所が解体され、木や石や 年のとば口として考えたものだった。テーマは「いのちとひ ルーズ」を読むという提案をした。本屋の品揃えのこの先十 かなかった本だ。かけ足の自分の時間を巻き戻し、ゆっくり 室ビオトープ」の一月のテキストが『鼻行類』に決まったとき し開いてはいなかった書物が、突然立ち現れてくる。「読書 オトープ」(小説分野)だ。かつて店頭にわたしが並べ、しか 「読書が本屋を追い越していく」という暮れ方に、「ドゥ

雲や空すべてをとり込んで再構成される。このドゥルーズ +ガタリの世界にはとりつく島がない。 暗中模索のなか遅れて手にした一冊にスタニスワフ・レム

念を崩壊させる必要がある。「ソラリス学」はいう。 う話だ。しかしその実存を理解するためには人間という概 の『ソラリス』がある。惑星ソラリスの海が生命体だったとい

《有史前の人類は、自分を取り巻く世界を、粗野で感覚的・2

・、、い。 な人間形態主義な(アントロポキルフィズム)方法で把握し

もしれない。と」の奥底を考えている。なにもない、ということもあるかと」の奥底を考えている。なにもない、ということもあるかブロックを連想する。そんな世界観を手助けに「いのちとびいずれにも「機械」という概念が出てくる。有機的なレゴ・

屋、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

は、「反本屋学」というのが成り立つのだろうか。

2023.11.25

スタニスワフ・レム 『ソラリス』 ハヤカワ文庫 2015 レーモンド・マンゴー 『就職しないで生きるには』 晶文社 1981 松浦弥太郎 『最低で最高の本屋』 ダイエックス出版 2003 松浦弥太郎 『最低で最高の本屋』 ダイエックス出版 2003

ポール・ラファルグ

『怠ける権利』 平凡社ライブラリー

2008

テーマ マイベストブック202312月7日 木曜日 第8回 19時半から定有堂教室 「読書室ビオトープ」小説を読む会です

ないのか』ちくま新書テキスト「フレイザー『資本主義は私たちをなぜ幸せにし12 月19 日「火曜日」19 時から定有堂教室「読む会」」(岩田直樹氏「選書)

12 月14 日 木曜日 19 時から (講師 岩田直樹氏 公立鳥取環境大学特任教授)定有堂教室「ドゥルーズを読む会」

副読本・檜垣『ベルクソンの哲学』講談社学術文庫テキスト 渡名喜庸哲『現代フランス哲学』ちくま新書

講師 日本武術太極拳連盟 四段 公認A級指導員毎週 水曜 19時半から ・土曜 13時半から 太極拳教室(会場 定有堂二階・他二カ所)葉香クラブ

三段

公認B級指導員

もう四〇年になるのか ―洋上での「転向」 (一

破る

のか。

理由は極めて単純、

「きっかけを与え

られたから」であ

岩田「直樹(公立鳥取環境大学特任教授

記む会」選書人

一 少し長い言い訳

 就職した二○代後半から仕事に慣れてきた三○ がな」と時計をしばしば見た記憶がある。
 就職した二○代後半から仕事に慣れてきた三○

は)絶対に昔話をしないこと」であった。 そのとき得た教訓は「(身内はともかく他人に

聴いている側としてはたまったものではない。らが厄介で、往々にして自己顕示欲が加味される。今日、同業の先輩が後輩に精神論以外に伝えるこならない。殊に「五年(二、三年?)ひと昔」の時代が変われば仕事のやり方も変わらなければ

とは思ってもみなかった。なぜ、例の「教訓」をだからついこの間まで、昔話をすることになる

そもそも私は物事に対して率先して取り組む積

極的な人間ではない。

感謝することにしている。 は事の上では「他の人に断られたから、困って は事の上では「他の人に断られたから、困って がを頼まれて断ることはまずない。(予定がバッかを頼まれて断ることはまずない。(予定がバッ

昔話をするか、だった。は。話が逸れてきた。そうそう思い出した。なぜおっと、自慢話になりそうだ、気を付けなくて

と提案されたのである。 今年二月、拙著『橋田邦彦・現象学・アーレン 今年二月、拙著『橋田邦彦・現象学・アーレン 今年二月、拙著『橋田邦彦・現象学・アーレン

出著は、主にかつての勤務校の紀要に書いた論出著は、主にかつての勤務校の紀要に書いた論出著は、主にかつての勤務校の紀要に書いた論とを論じた。

いう不名誉な記録を打ち立てたのだった。稿に対して何の反応もなかった。「読者ゼロ」と著一一〇―一一五頁)。学生からも同僚からも拙けとなった西太平洋上での体験を書いてみた(拙しれない。数学教員である私が哲学を読むきっから杯の紀要だから一人か二人は学生が読むかも

記憶の奥底に封じ込め、思い出すことはなかった。 拙稿を書いてから二七年間、 私の「黒歴史」を

た。 うございます」と感謝をこめた返事をするだけだっうございます」と感謝をこめた返事をするだけだっれた。その都度、「読んでいただいて、ありがとたですよ」と直接あるいはメールで感想を伝えらの話(私が哲学を読み始めた契機のこと)、よかっありがたいことにお読みになった何人かから「あ

ともあった。
これぞれの思索について、三回シリーズはどうですか」でれぞれの思索について、三回シリーズはどうですか」いただいた。「船に乗る前、船上、船から降りた後、のの体験』から始まる物語を共有しませんか」とメールを忘れかけていたとき、奈良さんから「『調査船上でをのまま数ヶ月経ち、拙著を刊行したことすら

視線」によって、当時の自分に語らせてもいい。在からの視点で脚色することなく、それこそ「現象学的発衝動」の出処がそこにあるのだとすれば、なるべく現うか、私が四○年近く哲学・思想を読み続けてきた「初私は奈良さんの「初発衝動」と言う言葉が好きだ。そ

話は、一九八四年に遡る。

ところが、拙稿を刊行して少し経ったときから、

暗くなるのがはやい日記

開風社 待賢ブックセンター)

ほど熱い。 ポットライトの向きをそっと変える。LEDの電球は驚く んなにしなくても、と思うが真剣に見ているので出窓のス ある。だが暗くなるのがはやい。ふと気づくとスマホのラ たくさんの文庫を耕している。百円均一の本はめちゃくちゃ 客さんが掘った後を店主が埋めていく。お客さんと店主で を近頃せっせと追加しているのでせっせと売れていく。お イトで照らしながら外の文庫を見ている人がいる。何もそ 暗くなるのがはやい。外に置いている百円均一の文庫本

想像はつかないがやらない理由にはならない。どうにかや どこかで本屋さんが廃業したらしい。月に十五万円ほど買っ ていたという。それがどんな分量なのか想像がつかない。 雑誌の配達をしてくれませんかと電話がかかってきた。

> またひとつ、わからないことが増えた。この店の未来は暗 た。新刊書店ってどうやって成り立っているのだろうか。 卓を叩く。ほとんど毎日配達して、手元に残るのは一万五 頼んでみる。返事待ち。一応利益のことも考えてみる。電 ある。あまりいい返事はもらえない気がする。期待せずに れない。問屋にも協力してもらわなければいけないことも れる方法を考える。近くなので時間はどうにかなるかもし いのだろうか明るいのだろうか。 ると問屋から返事が返ってきた。希望はすべて通らなかっ 千円と電卓が言っている。計算間違いじゃないのか。間違 いであって欲しい。だが間違いではなかった。混乱してい

・- 小石かなにかだろう。となりで寝ている五歳児に声をか - -あるんだろうか。そしてなぜぼくの布団の中に。やっぱり ないのでよく見えない。寝ている間に歯が抜けることって 乳白色の小さなかたまり。まだ暗いうえにメガネをしてい ないのか。すぐに目が覚めた。息子が四日ほど前から下の 前歯がぐらぐらすると言っていた。大人の歯が生えてきて 目を閉じたまま感触をぼんやりと確かめる。これ、歯じゃ 布団の中でなにか硬いものが手に触れる。小石だろうか。 いるのも見えていた。がばっと起き上がって手の中を見る。 暗くなるのがはやいと夜が明けるのはおそい。明け方、

たいなにがどうなってこうなったのか全然わからないが、 ける。起きない。口を開けてみる。歯が抜けていた。いっ 息子の初めて抜けた歯はぼくの手の中にある。

と報告しながら保育園に行った。大人たちは「へえそうな その日、息子は登園の途中会う人全員に「歯が抜けた!」

手の熱を受け止めている。もう何本も歯の抜けた口を開け が抜けた!」と報告している。子どもたちは彼の新鮮さを 子もいるらしい。それでも教室に入るまで友達全員に「歯 れなので同級生はみんなもう歯が抜けている。七本抜けた ん。よかったねえ」と冷静に聞いてくれる。彼は三月生ま 同じ熱量で受け止める。話の内容ではなく、それを話す相 かプロデュースとかにきっと役に立つ。

らないのでそのまま外で話す。マネジメントとかプロデュー がいいのだろうか。でも十数人の大学生に取り囲まれた本 スとかを学ぶという。なにか気の利いたことを言ったほう 出した。学生は十人以上いた。どう考えても店には入りき うの角を曲がってくる岩崎さんの顔を見てそのことを思い 近くの岩崎さんが学生を連れてくると言っていた。向こ

走り去る息子を見送る。

て。だから教室はとても暖かい。上着を脱がせて壁にかけ、

三人づつ順番に入ってみますか」と岩崎さんが言う。何人

屋のオヤジが彼らに言えることはなにもないのだった。「二、

ないので外でぼんやりするしかない。入りきれなかった二、 とは彼らが将来マネジメントとかプロデュースとかするう る。四坪半の本屋に大学生が何人入れるか覚えておくこ ようもないその時間を大事にしてほしい。マネジメントと 三人の大学生も同じように外でぼんやりしている。どうし えでけっこう大事かもしれない。店の中に自分の居場所が までなら入るか試してみるのはどうですか、と言ってみて

どこかへ行ってしまう。学生がはやいのか、自分が立ち止 まっているだけなのか。考えていると日が暮れた。 帰って行く学生たちの足ははやい。あっという間に次の

京都市上京区大宮通椹木町上る菱屋町818 「開風社 待賢ブックセンター」

虎とミナミのけったいな夜

木元 健二

督として指揮を執っている。今年の日本シリーズの相手は、

歳月を経て、そのとき主軸打者だった岡田彰布が今、監

大阪を本拠とするオリックス。関西が盛り上がっているの

(新聞記者)

系)。神戸と大阪で阪神の優勝を祝うパレードがあり、根っ た。十一月二十三日の「報道ステーション」(テレビ朝日 からの虎党として積もる思いを語っていた。なにせ阪神は 一九八五年以来、三十八年ぶりの日本一である。 えらい男前が出ているなぁ、と思ったら俳優の渡辺謙だっ

けた。「社長のためにみんなでがんばろうや」。この言葉 故翌日から六連敗し、首位転落。監督の吉田義男は呼びか 故発生の緊迫を知った。灼熱の御巣鷹山で続けられた救助 空の墜落事故が起きた。中学三年生だった私はテレビで事 で結束力が戻り、初の日本一へとつながっていったという。 の数は、単独機の事故として現在も世界最多だという。 の状況が刻々と報じられてゆく。五百二十人という犠牲者 中埜肇・阪神球団社長も帰らぬ人になった。チームは事 あの年の夏、ひときわ暑かった気がする。八月に日本航

> ンが多勢で、巨人贔屓がちらほらいるくらい。独りぼっち 松に住んだ。元は阪急の本拠地、西宮球場のそばに住んで なる。だから、オリックスを素直に応援する気にもなれな が、山陰・松江に暮らしていても伝わってきた。 の阪急推し、だった気がする。 ブレーブスは人気がなかった。千里のクラスでも阪神ファ いた。望郷の念を抱くように阪急を好きになったのだが、 い。我ながら執念深い、と苦笑してしまうのだが。 ローズ」というと、宿敵だった近鉄バファローズの影が重 ブレーブスへの想いが消えないのだ。オリックス「バファ とはいえ、虎党ではない。実はとうの昔に消滅した阪急 大阪・千里の小学校にあがるまで、父の転勤で静岡・浜

ら、父にはぐられてしまった。 に連れられ、西宮球場まで観にいけることになったのだ。 三連覇となる七七年の日本シリーズは、大の野球好きの父 王福本豊らをはじめ、投打ともに戦力充実。日本シリーズ でも愛用の阪急帽をかぶり、いさんで出かけようとした ただ我が軍は強かった。サブマリン投手山田久志や盗塁

じめられるだろう」。父はそう言って笑っていた。 るジャイアンツ。西宮でも巨人ファンが圧倒的に多いに違 打ちたて日本中を熱狂させた王貞治がいて、長嶋茂雄率い いない。「阪急帽なんかかぶっている子は、はぐれたらい

経過を追ってしまう。シリーズは、サッカーやラグビーのW杯より関心をもってシリーズは、サッカーやラグビーのW杯より関心をもって熱が盛んな関西で育ったせいだろう。プロ野球、特に日本ムもあった。甲子園では春夏の高校野球も開かれる。野球

今は阪神とオリックスだけだが、かつて在阪球団は四チー

スではテレビからも大歓声が聞こえてきた。第七戦までもつれた今秋の日本シリーズ。阪神のチャン

子園のスタンド模様を取材したナイトゲームを思い出した。ふと二十年前、阪神が久々のリーグ優勝を決める頃、甲ふと二十年前、阪神が久々のリーグ優勝を決める頃、甲

そうした熱狂のるつぼで打席に入るバッターの心境はどずんずんとタテに揺れているような気がしたものだ。人の手拍子が呼応する。そそりたつアルプススタンドが、超満員の巨人戦。虎の攻めどきには噴火する大歓声に数万呂園のスタンド模様を取材したナイトゲームを思い出した。

ひいきチームもないので、なんとなくという感じだが、

凡人には想像もつかない。

ろう。やはりあれほど応援されると底力が湧くのだろうか。

んなものなのか。平常心を失うと、実力を発揮できないだ

かで、虎党のごとく発火するような感じはしなかった。宮や横浜も楽しかったが、ツバメやベイのファンは軽や野球観戦の開放的な雰囲気が好きだ。ふらりと行った神り

いう。 つぼ状態になり、道頓堀には約六百四十人が飛び込んだと た夜。ミナミの街頭を取材した。サポーターらで熱狂のる阪・長居スタジアムで悲願の決勝トーナメント進出を決め

二〇〇二年六月、サッカーの日韓W杯で、日本代表が大

連鎖してゆく、ということか。 へのストレートな喝采でもない。歓喜の噴出は理屈抜きにる場面ではないだろう。虎の応援歌なのだから、日本代表ングとして、いくらミナミでも関西ナショナリズムが表れンのを妙な融合は、いったい何だったのだろう。タイミあの奇妙な融合は、いったい何だったのだろう。タイミ

本を作る側から (9)

村瀬 謙介

(小取舎)

は男性という方で、初めてお会いした時にそんなことは感会った著者の方は、元々女性の身体で生まれてきたが、心今井書店で働いていた昔からの知り合いに紹介されて

構頑張ったなと思ったが、実はもう一冊出ます。

を尊重し合える優しい世界の形|』。十二月十七日発刊でております。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いでおります。タイトルは『ヒゲ面の元ママ|お互いの違いを尊重し合える優しい世界の形|』。十二月十七日発刊ででおります。

したもの。これを+と表現した人もすごい。り、+はこうした言葉では表現しきれない性の多様性を表方がまだわからない、決めていない人のことを表現しておが増えたのだろうと思ってしまうが、Qは自身の性のあり最近はLGBTQ+という、いつの間にQと+(プラス)

はできない風潮があった。女らしくとか男とはこうある10はなく、なぜなら悩みを抱えていてもそれを表に出すこと代では子供の頃には性の悩みを持っている人と出会うことできる程度にその世界のことを勉強するわけだが、私の年毎回小取舎の本を作る打ち合わせ前に最低限著者と話が毎回小取舎の本を作る打ち合わせ前に最低限著者と話が

など。同性愛についての映画はいくつもアカデミー賞を受 カを舞台に同性愛を描いた「ブロークバック・マウンテン」 テーマにした「フィラデルフィア」、一九六三年のアメリ ちろん主に洋画)も観ていたからかもしれない。ドラッグ クイーンを描いたロードムービー「プリシラ」、エイズを 書かれているのだが、理解して欲しいというわけではない。 理解はあるほうだが、当事者ではない私が色々言っても

だと思う。映画少年だったからか、性についての映画(も

や偏見が生まれてしまう。

かもこれを誰もが納得する方向に落とし込まないと差別1-

べきとか、昭和だなぁと思う。ただ、元々理解はあるほう

賞しているし、単に物語的にも好きな映画はたくさんある。

…ややこしいな、ええと、例えば男性が女性に性転換した 方の中には性の対象が女性の人がいて、その方が公衆浴場 た。性転換をした人の中にも性の対象が異性でない方が… この本を作っている間に、反対派の団体があることも知っ

や公共のトイレに入るのが恐怖という理由で反対している

女性の団体がある。

ツも多くあり、今後どうなっていくのだろう。性転換した よんだことがあった。男子と女子に競技を分けているスポー スポーツの世界でも、元男性が女性の種目に出て物議を

体力や筋力にどう影響するか、性転換した人がどちらのカ

人がホルモン治療や他の医療的処置を受けた場合、これが

テゴリーに所属すべきかなどいまだに議論されている。し

読んでいただきたい。ただ、著者の方が「はじめに」でも 説得力がないかもしれないのでぜひ発刊したら手にとって

こういうことを経験した著者が見てきた世界を、「あなた

の世界」に取り込み、人生を豊かにしてほしい。私が映画

で知ったように、性の悩みを抱え、乗り越える人の世界を

この本でも体験していただきたい。

い世界の形一』河本直 著 小取舎 定価一四三〇円税込 『ヒゲ面の元ママ 一お互いの違いを尊重し合える優し

やさしい世界で学び直す

(sheepsheep_books)

きっかけは二つ。

れど、そろそろついていけなくなると思った。 て質問されたこと。その時はさっとヒントを伝えられたけ ひとつは、当時中学生だった息子に、数学の宿題につい

調に進む。

ことへの不安で、要するに老化予防。せっかくやるなら、 クロスワードパズルよりも数学をおさらいする方が、息子 もうひとつは、大げさに書くと自分の脳が衰えつつある

の質問にも答えられるし。

内容をカバー!」。文芸書や人文書と同じように、帯に惹 直しにも、ぴったり!」「小学のおさらい+中学三年間の を手に取った。決め手は帯にあったキャッチコピー「学び めな本を選ぼうとする欲望を抑え、当初の目的を冷静に思 る。昔は数学得意だったからな!と無駄なプライドで難し い出し『やさしい中学数学』(きさらぎひろし著・学研) 仕事終わりに中学生向け参考書の棚をじっくりと眺め

> かれて参考書を買うのは、初めての経験だ。 形から入ろうと、シャーペン・赤ペン・消しゴム・ノー

ト・下敷きと勉強道具一式を新たに買いそろえて、早速ペー

紙タイプのノートにしておけば良かったと反省しつつ、順 ジを開く。まずは小学校の算数のおさらいから始めて、正 好きだった。比例・反比例のグラフの章まで来て、方眼用 小さくなりながら下りていくあの書き方が、なぜか昔から と負の数・文字と式・方程式と続く。素因数分解の、数が

ライゼーションする、いまのビジネスシーンを彷彿とさせ たらしい。統計的手法でデータドリヴンな資料をビジュア げ図というもので、データの偏りやバラつきを視覚的に表 のが、二〇二〇年になって中学二年で学習することになっ したグラフだ。二〇一二年から高校の数学 I で出てきたも 習った記憶がない方法が出てくるのが新鮮だった。箱ひ

半でやりきることができた。 た問題はもう一度やり直して、をコツコツと続けて三か月 後に三〇分から1時間程度のペース。丸つけもして間違え 基本的にまじめなタイプなので、だいたい週三日、夕食

わらない。特に図形は平面も立体も。考えに考えてやっ12-そしてやっぱり、いくつになっても苦手なジャンルは変

本そのものをくるくる回してしまう。 単なやり方が書いてある。そんな公式あった!? (ちゃん 単なやり方が書いてある。そんな公式あった!? (ちゃん が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ 力が低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ カが低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ カが低いのだろう。ちなみに地図を読むのも苦手で、スマ

ておこう。が、君は解き終わった後にちゃんと確認するように」と言っが、君は解き終わった後にちゃんと確認するように」と言っの繰り上がりやプラスとマイナスの勘違いなど、初歩中のの繰り上がらケアレスミスが多いのも相変わらずだ。足し算

をお笑い芸人・パンサー尾形と同レベルだけれど… を務まに暗号通貨やブロックチェーンに関する入門 がとのままに暗号通貨やブロックチェーンに関する入門 が大のままに暗号通貨やブロックチェーンに関する入門 が数学」も毎回録画して楽しんでいる。理解度は司会を務 い数学」も毎回録画して楽しんでいる。理解度は司会を は純粋に楽しい時間だった。解法を 関いたときの高揚感を とればし、 といいが、この頃からしばらく自分の頭が理系モー といいが、この頃からしばらく自分の頭が理系モー といいが、にいいで始めたけれど、結果として といいが、にいいで始めたけれど、結果として

> 息抜きのコラムページもちょうどよい塩梅。 場がる。無理のないペース配分。別のやり方を見せるこを期的に前提知識を確認し、前のページで学習したことを定期的に前提知識を確認し、前のページで学習したことをので、間違えやすい箇所の説明も違和感なく入ってくる。めめる。生徒二名と先生一名との会話形式を取っている '幼でつまずくと絶対に続かないので、小学校の算数から '3

書でした。 ない、今の時代にあった若い人への教え方も学習できる良数学の学び直しもできて、 ほったらかしでも過干渉でも



定有堂教室案内サイト (@ドラメリア)

汽水のほとりから (33)

小原 修治

(県立高校教諭 湯梨浜町松崎在住)

このところニュースが戦争の報道を伝えない日はない。

終息の兆しは全く見えない。加えて先月にはパレスチナ領 破局を意味する「ナクバ」の語で呼び慣わしてきた。この 土地を追われた彼らはこの未曾有の事件をアラビア語で大 建国される過程において、この地に住むイスラム教徒やキ ガザ地区のイスラム主義政党ハマスがイスラエルを攻撃、 リスト教徒ら約70万人余が追い出され、難民となった。 歴史的経緯は複雑である。このことは後者の戦争について ロシアによるウクライナ侵攻から二年近くが経過したが、 も言える。これを機にパレスチナ問題について考えたい。 前者の戦争について岸田総理はロシアが悪いと断じたが、 イスラエルも報復を続け、今も死傷者は増え続けている。 一九四八年にパレスチナの地にユダヤ人国家イスラエルが 「ナクバ」という言葉がある。今を遡ること七十五年前、

> は一転して加害者になったというのは、歴史の皮肉としか は旧約聖書に記された約束の地パレスチナを選んだ。 言いようがない。別の土地に建国する案もあったが、彼ら に当たるのであって、その被害者であったユダヤ人が今度 様々な暴力的手段によって強制的に排除する行為である。 エスニシティ(民族性)の異なる集団を虐殺や追放などの と言われるものである。それは特定の地域から自分たちと て起きた民族浄化は、ナチスのユダヤ人迫害がまさにそれ しもあって、多くの国連加盟国が支持した。しかし、続い 反動として盛り上がりをみせていたシオニズム運動の後押 のナチスドイツによるユダヤ人迫害という歴史的悲劇への イスラエルによる圧政は、民族浄化(ethnic cleansing) イスラエル建国については、当時明るみになったばかり

彼はアラブ人たちに帝国崩壊後は彼らの国を創ることを4-帝国打倒に蜂起したアラブ人叛乱軍を率いて戦い続けた。 が、当時、このトルコ人が建てた帝国を倒して自分たちの だから、この地でアラブ人とユダヤ人とは共生していた。 支援を買って出たのが英国である。「アラビアのロレンス」 国を創ることを夢見るアラブ人指導者たちがいた。彼らの はオスマン帝国の一部だった。帝国は多民族国家だった。 として知られるT・E・ロレンスは、祖国の密命を受け、 もっと歴史を遡ってみよう。二十世紀初頭、パレスチナ

接近し、帝国を倒せば彼らに国を与えると約束していた。

約束したが、その裏で同時に英国政府はユダヤ人たちにも

まったという(『ガザに地下鉄が走る日』みすず書房)。15-

イスラエルやアメリカの民族浄化は人権の侵害である、'

認めた。折しも欧州ではナチスドイツが台頭、その迫害を 罪の意識に苛まれ続けたという。一方、ユダヤ人の入植は そしてアラブ人国家建設は認めなかった。ロレンスは生涯 帝国崩壊後、英国はほぼ全ての油田の採掘権を獲得した。 英国の真の狙いは、オスマン帝国の石油だった。事実、

この頃始まった。事態を重くみた英国は調停に乗り出し、 なった。この土地は瞬く間にユダヤ人国家の様相を呈し、 アラブ人は抗議活動を激化させてゆく。両民族の対立は、

逃れたユダヤ人が大量にパレスチナに押し寄せる結果と

ユダヤ人の入植も制限したが、もはや収拾不可能だった。

の放棄を表明。土地を分割し、その一部にユダヤ人国家を 第二次世界大戦後の一九四七年、英国はパレスチナ統治

ことだ。彼女は自分の母を誇りに思うと語った。そして彼

女の名が、その母が仲間たちと決死で挑んだリッダ闘争が

ブルミーニングであったことを、その時初めて知った。

一九七二年五月だったことと、革命の一字とに由来するダ

強制収容所」である。アラブ文学研究者の岡真理によれば、 ガザの完全封鎖はイスラエルやアメリカがテログループと 暮し続ける場所だが、イスラエルやアメリカが築いた高さ に繰り返されるガザ地区は、これにより難民化した人々が 建設する案が国連総会で賛成多数で可決されたが、これが 八メートルの分離壁によって逃げ場の失われた、「現代の 「ナクバ」を生んだ。今も大規模な破壊と殺戮が数年おき

みなすハマスを選挙で選んだ市民への集団懲罰として始

は前世紀の宿題の積み残しの結果だとつくづく思う。彼ら なるまい。二十一世紀の今が戦争の時代であること、それ そう考えてパレスチナ解放に起ち上がった若い日本人がい は少なくともその宿題を解こうとした人たちである。 彼らに犯罪者の烙印を押しておけば万事解決したことには かに、彼らのテロリズムは間違っていたかもしれない。が、 上のような歴史を知らなければ分からないはずである。確 思い出したりしないだろうから。私は無論、重信房子が率 たことは、もはや多くの日本人の頭の中に無いだろう。今 鳥取のこぶし館に徳永進医師が彼女をゲストに招いた折の いた日本赤軍のことを言っているのである。彼らの志は以 のガザ地区の悲惨な戦争報道を観ても、誰も彼らのことを 重信房子の娘の重信メイに一度だけ会ったことがある。

ビートルズって重いのか

(倉吉市在住者)

音楽番組がある。 有名な曲を他の歌手やバンドがカバーして歌うNHKの

リー・フランキーと上白石萌歌が、神妙な顔をして話を切りー・フランキーと上白石萌歌が、神妙な顔をして話を切が重い特集をするとなると…」などと、冒頭からMCのリ十年目で初めてということで、びっくり」「これくらい荷「このバンドを特集する日が来るんですね」「番組開始

アンド・ゼン』を記念してのスペシャルらしい。周年と、十一月にリリースされた〝彼らの新曲〟『ナウ・ビートルズのベストアルバム「赤盤」「青盤」発売五十

重いのか、ビートルズって。「それなら、やるなよ」出てくるから」とその場の笑いを取ったものの、そんなにが「うかつに(ビートルズについて)話すと、怖い先輩がと、荷が重い」とうつむき加減に語る。リリー・フランキー出演者も「僕らも、ビートルズのことを話せと言われる出演者も「僕らも、ビートルズのことを話せと言われる

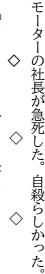
番組は聴かず、スイッチを切った。

誰もが知っている「ヘイ・ジュード」「オブラディ・オプの元メンバーらが歌う。当たるか」と尋ねられたので、するコンサートを呼ぶことにした。ゴダイゴやチューリッのビートルズ好きと聞いたけど、今度ビートルズをカバーのビートルズ好きと聞いたけど、今度ビートルズをカバーのビートルズ好きと聞いたけど、今度ビートルズをカバー

 ルズ・ファンはたぶん誰も行かないからだ。

ブラダ」などのメドレー。この手のコンサートは、ビート

ところが数か月後、この公演を各地で興行していたプロサばいい」と言われて拍子抜けした覚えがある。
「お前クビになるぞ」。自分の責任でもないのにさんざ「お前クビになるぞ」。自分の責任でもないのにさんざホールに三百人しか入らず、四百万円近い大赤字。



た雑音だらけのテープをAI技術で処理して誕生し、五6-『ナウ・アンド・ゼン』は、ジョン・レノンが残してい

しくはなかった(あくまで個人の感想です)に比べて、ジョンらしくはあったが、あまりビートルズらの『フリー・アズ・ア・バード』や翌年の『リアル・ラヴ』ただ、「二十五年ぶりの新曲」と同じく騒がれた95年十四年ぶりに全英シングル・チャート1位に輝いた。

こんな曲を歌った彼としては。
るだろう。とくにビートルズ解散後の初のソロアルバムでき好きだから。でも、当のジョンは生きていたらどう感じなにも新曲を喜ぶ人たちに水を差す気はない。音楽は好



ビートルズも信じない エルヴィスも、ボブ・デュランも、ケネディも信じない エルヴィスも、ボブ・デュランも、ヒットラーなんて信じない キリストなんて信じない

夢はもう終わった
あれは「イエスタデイ」

信じるのは自分だけ ヨーコと自分だけ

「神」=70年のアルバム「ジョンの魂」収録(意訳)夢を紡ぐ人間(dreamweaver)だった私は生まれ変わった

るのも、もうごめんだよ、という歌。めて、自分を信じよう。僕が雲の上の人間に持ち上げられめて、自分を信じよう。僕が雲の上の人間に持ち上げられ神やカリスマの指導者、アイドルに救いを求めるのは止

- 「倉吉ビートルズ」という地元のコピーバンドをもう1-- 「倉吉ビートルズ」という地元のコピーバンドをもう1--

三十年近く応援している。

たちは日本人だけど、当時の彼らに似ているわ」とほめてトルズの〝追っかけ〟だったおばちゃんが来て、「あんたの「キャバーンクラブ」でライブをした時、楽屋に本家ビー彼らが二十数年前、ビートルズのふるさと、リバプール

くれたという。この話が好きだ。

フーフー言いながら練習だけは怠らない。 だ、やっているうちに彼らは音楽の高みにのぼり詰めたた。港町リバプールで育った本家ビートルズもそうだろう。た。港町リバプールで育った本家ビートルズもそうだろう。 から いっの間にかイギリスまで行けに入れバンドを始めたら、いつの間にかイギリスまで行けった。 東ビートルズは「バンドする楽しさ」にあふれている。 東ビートルズは「バンドする楽しさ」にあふれている。 東

成した「シルバー・ビートルズ」も、そんな気持ちでやっ放した「シルバー・ビートルズ」も、そんな気持ちでやっ放っておこう。下手くそでもいい。われらアラ還世代で結がビートルズを知っているみたいな「怖い先輩」なんか、ビートルズは少しも「重く」なんかない。さも自分だけ

背と腹の話 続

ムラカミヒロミ

(フライング・ブックマン)

(承前)

社史の類いにも由緒の説明がなく、察するに、デザイナー による創作ではなかろうか。 文春文庫は、甲骨文字の拓本風だが、創刊時の広告にも、

ド・マーク、ラッパを吹くカッパである。「へのカッパ」 ジラの尻尾(モービー・ディックかしらん)。河出文庫は 学術文庫はトキ(ヒエログリフと思しい)、学芸文庫はク の謂だそうである。 フクロウ、光文社文庫はカッパ・ブックス創刊以来のトレー の印刷職人ジャン=バチスタ・ボドニによる)。ちなみに 講談社文庫は、ボドニの装飾活字(十八世紀パルマ公国

表紙や扉に、それぞれ、葡萄、鳳凰、ヤヌス(ローマの双 本体表紙と扉には、別々の鳥の絵があしらわれている。扉 面神)が座っている。中公も、背はRCのロゴだけだが、 サンリオSF文庫は火星人、ソノラマ文庫はペガサス。 新潮、角川、徳間は背にこそ入っていないものの、本体

> うが、枝を咥えているから、多分、鳩であろう。 の方は、胸に人面があり、まさかハルピュイアではなかろ

は区別の為®付になり、今は、再び®なしである。初版本 が、昭和五十五年頃から¥なしのゴシック、消費税導入後 や古い版を探す際の目当てになるので知っておくと便利で 値段表示も、例えば角川文庫は、最初は¥付明朝だった

口は沈黙の臓器と申すべきであろう。 ノッペラボーである。雄弁に語るのが背であるならば、小 一方、腹(通常、小口、と言うが)の方は、大抵の場合、

されたものをよく見かける。頻繁に使うものだから、汚れ のとおり。 色付けをしたり、穴を穿ったりすることがあるのは御存じ 聖書や手帳などは、小口三方にエアブラシ様の色が散ら とは言い条、辞書や法規集などが、インデックスの便に、

もある。ちょっと癖の強い本に多い。 また、三方を真っ黒に染めたり、真赤に染めたりした本 隠しのためである。

これが、豪華本や限定本になると、金や銀、マーブル 8-18

文の中に入り込まないようにする実用上の働きもある。を施す。金銀は、豪華さの演出だけでなく、湿気や埃が本

ごく稀には、小口絵が施されたものもある。

山本容子の絵をプリントしたように、見応えのあるものもかつて集英社が「ギャラリー世界の文学」で、天に装幀家・が発ど。それでも相当な手間であることは間違いがないし、が発ど。それでも相当な手間であることは間違いがないし、かつで集英社が「ギャラリー世界の文学」で、天に装幀家・が発き。それでも相当な手間であることは間違いがないし、かつとが、日本の本は、短側の上下を両手で固定し、ページが手書きをしたもの。小口の上下を両手で固定し、ページが手書きをしたもの。小口の上下を両手で固定し、ページが手書きをしたもの。

たケースもある。辞書のインデックスと同じやり方である。オーナメントを印刷して、小口部分で絵に見えるようにし本文用紙の余白部分に、裁ち落としギリギリまで絵や

る。こちらは、あまり美しいものではない。個人蔵書などで、蔵書印を押して、盗難に備える向きもあ美しく装うために、手を加える場合もあれば、図書館や

ると、どれがどの本だか分からなくなってしまう。為に、ので、必然的に積み重ねて保管する。よって、数が多くな和本は、もともと背表紙が存在せず、立てるに不向きな

地小口に書名を書き入れることが、ままある。

体に、人の手ほど不潔なものはないと言い、多くの場

喫茶店や病院の待合室に並んだコミック本など、小口のて、小口は手垢、手擦れで汚れる。合、本を読む時は手を用いるのであるから、理の当然とし

見貫れた光景である。コニエ▽ヒードトート、▽エードドれたよど見まずすされていて、仕入れたコミックや文庫の小口を磨いている。全国チェーンの新古書店の店頭にはグラインダーが装備

特定部分が黒ずんでいることがよくある。

のためである。 するに際し、小口にヤスリを掛ける。何れも、汚れ落とし見慣れた光景である。出版社でも、返品された本を再出荷

ず放り投げてしまい兼ねない。
きだろうが、きれい好きな人など、キャッと叫んで、思わらだろうが、きれい好きな人など、キャッと叫んで、思わえれな姿になっている。積年の功績に、顕彰して応えるべくれ立ってしまって、クタクタヨレヨレ満身創痍の見るも真っ黒になっている上に、ページのエッジが磨滅し、ささ、国書館で、かつてのベストセラーなどを見ると、小口が図書館で、かつてのベストセラーなどを見ると、小口が

小口は語らず、その姿をして語らしむ。

鳥取あれこれ。そのハ十八

[田 克彦 (地域研究家)

している。もっと調べられてもよい人物である。 残念ながら、一九一二(明治四五)年に四一歳で早逝語を学んでいる。山路愛山とも交友があったようだが、 長江より六歳年長である。松江中学では小泉八雲に英

まま載せているが、「米子藩士」はあり得ないので、米子藩士」とする、信濃毎日新聞の当時の記事をその本子藩士」とする、信濃毎日新聞の当時の記事をその来の書簡を中心に』である。竹世が製糸工女の駆け込み寺として岡谷市(現在)に「母の家」を開設したのは、一九二六(大正一五)年三月、翌年の一一月まで存続した。同著の口絵には、「母の家」を開設したの存続した。同著の口絵には、「母の家」を開設したのは、一九二六(大正一五)年三月、翌年の一一月まで存続した。同著の口絵には、「母の家」を開設したのは、一九二六(大正一五)年三月、翌年の一十月まで存続した。同著の口絵には、「母の家」を開設したのは、一十十分では、高浜竹世の墓や、長田の書になります。

米子荒尾家の家臣であったのかもしれない。

小委員会」のことで、市川房枝は当時東京支局にいた。 委員会」とは「国際労働機関(ILO)婦人労働問題 子による記事を引用する。ここに出て来る「労働婦人 の中に載る「東京だより」の、東京朝日新聞の竹中繁 京では労働婦人委員会がこの場合を無論みのがしは な婦人が女工らの生活にうるほひを与へ慰めを与え **虐使酷遇にうめく工女の群が資本家の下敷になって** が東京に出来てゐるのです。この「母の家後援会」 信州岡谷の製糸工場に起つた女工の労働争議は、聞 ゐるのを見出しました。 そこに高濱竹世といふ奇特 工場や坑内労働視察に行った時、富裕な岡谷の町に の由来を聞いて見ますと、昨秋労働婦人委員会員が しません。それに岡谷の「母の家後援会」といふの くだに膚に粟するほど悲壮なものでした。 東京にお いて信州岡谷を語ることは聊か遠いやうですが、東 一九二七年一〇月の全関西婦人連合会発行『婦人』

みを与えてゐたのです。

るために倶楽部を設けて本当に女工の母らしい温か

次的な資料が存在する。」と記述しており、この争議次的な資料が存在する。」と記述しており、この争議代子のかかわりを示す十分な資料は現存しないが、二『時代の証言―伊藤千代子』には、「接点について千昨年五月に鳥取で上映された『わが青春つきるとも―昨年五月に鳥取で上映された『わが青春つきるとも―

アドレスに照会メールを出したが、返信は来なかった。鳥取県出身がある、とあったので、奥付に載っていたけい〉女学校高等科英文予科の一六名の中に、一名の因みに、同著に伊藤が入学した仙台の尚絅〈しょうを登場させたのだろう。

た④竹下景子演じる安井てつを、映画は描ききってなた④竹下景子演じる安井てつを、映画は描ききってない。の中で、この映画と原作本に触れている。「『治動』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治動』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治動』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治動』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治事』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治事』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治事』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治事』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治事』の中で、この映画と原作本に触れている。「『治神と住民運

いなどを指摘し「原作も映画も駄作だ」と書いている。

たって」の中で、佐倉はこの争議の顛末を書いている。女工虐待史』があり、一九八一年復刻版の「復刻にあへ思つた」と書く、一九二七年刊の佐倉硺二著『製糸工哀史』に書かれた紡績女工は「寧ろ幸福であるとさっさて、その「序」に、一九二五年刊の細井和喜蔵『女ユ・さて、その「序」に、一九二五年刊の細井和喜蔵『女ユ・

で、あくまで工場内で死守すべきであった。連れ出したことだ。これは敵に城を明け渡したことト十四日目に、慰安の目的で、一部の女工を外部へにより無惨な敗北となった。その大きな過ちは、ス

この大争議も、九月十六日、争議団幹部らの検束

対工たちの宿泊を引き受けた「母の家」は、さまざ女工たちの宿泊を引き受けた「母の家」が一九九一年に発刊されており、 勝代が嫁いだ米子の後藤峰太郎宅に身を寄せ、のちに は「西伯看護婦会」の会長を務めていたらしい。 は「西伯看護婦会」の会長を務めていたらしい。 「第七章『母の家』の記録」の記述の中には、甥の後 藤四男からの聞き取りや後藤峰太郎宅に身を寄せ、のちに 勝代が嫁いだ米子の後藤峰太郎宅に身を寄せ、のちに 勝代が嫁いだ米子の後藤峰太郎宅に身を寄せ、のちに がったらしい。 は、さまざ

八代日記(四十四)

齊藤 仁昭

(ケバブジョンソン・

元長崎書店勤務)

十一月某日

YMOの「君に、胸キュン」が好きだった次男が次は「ライディーン」が気に入ったようで胸キュンを聞かなくなってしまった。あまつさえ手でドラムの真似事までしているの要素が強くなっていったようで胸キュンを聞かなくなっの要素が強くなっていったようで胸キュンを聞かなくなっなっただけなのかも知れないが。

十一月某日

るのはとてもいい。書店のレジ打ちまたやりたいな…。てなんとか緊張しないようになってきた。お客さんと話せきないやりたくないという気持ちになっていたが踏ん張っくなってしまった。初めは緊張しすぎてああもうだめだで人手不足が極まり、自分もレジ打ちをせねば店が回らな

十一月某日

ので、考えるきっかけを得た。かその時は持ち合わせておらずちょっぴり恥ずかしかったルニアと言えばレッチリ、という安直で適当な思考回路しに造詣があるとのことで色々と教えていただく。カリフォ初めて会った友人の友人がカリフォルニアのカルチャー

ろうか。要勉強である。ウルもその辺りの地域が中心地だった・中心地であるのだり近頃聴いていてやたらとシンパシーを覚えるチカーノソ

う。なのでサウザンブックス社の『チカーノソウル』を買ルニアの多文化のレイヤーを辿っていったらさぞ楽しかろまだとってもぼんやりしたイメージしかないが、カリフォ

うことにした。奮発。

いメールをいただく。行きたいなアメリカ・・・・アメリカのことを考え始めていたらアメリカからうれし

十一月某日

楽しい。売っている野菜がとにかく元気なのが良かった。 物や生産者を支援し、地域社会に根ざしたオルタナティブ ントに赴く。instagramには「熊本の小規模農産 んな野菜の生産者のブースや、コーヒーのブースがあって フードシステムの開発に取り組む団体です」 とある。 いろ Farmstand o n Sundaysというイベ

午後から仕事に行かねばならず長居できず残念。 別のブースで売っていた『新百姓』という雑誌を購入。 あんまり食べたことのない菊芋を買ってみる。

十一月某日

さった猪鍋がとても美味かった。味噌仕立ての汁の表面の のこと。刃物はご自分のところのものなのか聞きそびれた。 脂が厚く、いつまでも熱々だった。猪はご主人が締めたと る方が多かった。刃物店のご店主がお昼に差し入れてくだ 刃物店前にて出張販売させていただく。大福もちを買われ 八代妙見祭。祭はとても盛況だった。我々も参道沿いの

> だけのような。「さるく」は熊本弁でフラフラ歩く、散歩 する、徘徊する、彷徨う、くらいの意味です。 してみると仕事なんて全然してなくて遊んでさるいている しかし休日のないぶん体力は消耗していて、朝がとても この三十日で休日は三日しかなかったが、日記を読み返

十一月某日

つをホットミルクに入れて飲んだら満ち足りた。外では大 夜、おいしいジンジャーシロップの冷蔵庫に残ってたや

わたしはわすれない

三浦、永理

(青翔開智中学教員)

コロナウイルスと共にあった嵐のような日々も、少しず二〇二〇年から三年が経った。

つ遠いものになっていく。

店頭で見られるようになる。 日本のあちこちで「外国人お断り」などという断り書きが他の人の声が聞こえてきて、やるせなく感じた。のちのち、光客も来ていた。「ウイルス持っているかも」などという光客にとって二〇二〇年は、鳥取に移住した年でもあった。

に、「次はゴールデンウィークかな」と言って、そのまま三月。鳥取に向かう日、見送りに来てくれた東京の友人京で最後に観た舞台は、次の日から上演中止になった。東きのチケットは、国境の封鎖により、全額返金された。東おかしくなってきた。予約したソウル経由ニューヨーク行お作する直前の二、三月から、世の中の様子はにわかに

ていった。なっていき、オンラインでの交流が急速に当たり前になっなっていき、オンラインでの交流が急速に当たり前になったからだ。「緊急事態宣言」が出され、緊急事態が日常に帰ることはなかった。県をまたぐ移動も憚られるようになっ

初め、鳥取はなかなか感染者が出なかった。感染すると、食事をせずに人と交流する読書会くらいが、知らないは、食事をせずに人と交流する読書会くらいが、知らないは、食事をせずに人と交流する読書会くらいが、知らないは、食事をせずに人と交流する読書会くらいが、知らない人と初めて会うにはちょうどよかった。

負債のように貯まっていった。うな授業が感染対策でできなかったり、もどかしい思いがと上演のチャンスを奪われるのを見たり、なかなか思うよ次第に、かつての趣味だった演劇が「不要不急だから」

〇二〇年は、市内十キロ圏内を移動するだけだった。分も車を運転できるのだと自信もついた。と言っても、二秋、車を買った。少し気分転換がしやすくなったし、自

年末年始、きちんと職場に申請を出して、東京に帰省4-

結司、虱邪もひかないくらい建康でいることが一番正しくてはいけなかった。 した。が、鳥取に帰る際には、高額のPCR検査を受けな

利なのだと。

している。移動の自由は簡単にあきらめてはいけない権--

いとされた一年だった。 結局、風邪もひかないくらい健康でいることが一番正し

景になって、自分の中にも「自粛警察」的な面が生まれてきな違和感を持っていた自由の放棄も、いつしか自然な風社会をどこか当然のものとして受け入れていた。最初は大

当たり前に移動していた自由をいとも簡単に諦め、監視

らこそ、人は旅をする。新しい場所で生活を始める。移動少しでも場所が変われば、現実の生活から逃れられるかいけないという自己監視に取り込まれていった。「安全安心」という言葉を人質に取られて、制限いった。「安全安心」という言葉を人質に取られて、制限

私たちの自律的な選択ではないか。して、彩りは「不要不急」なのか。いや、奪われたのは、がなくなること、そして彩りが奪われることだった。果たが自かが奪われることは、選択肢が奪われること、逃げ場らこそ、人は旅をする。新しい場所で生活を始める。移動

批判する論を参照しながら、その制限をあらためて問い直ンのコロナ禍において移動の制限を受け入れる例外状態を『目的への抵抗』で國分功一郎氏は、 哲学者・アガンベ

を私は忘れない。

と退屈の倫理学』を発展させながら國分氏が語る。していると語る。しかし、そこに人間の自由はない。『暇する合理性によって、手段が正当化されることを端的に表後半においては、「不要不急」という考えが、目的に対

「目的のために手段や犠牲を正当化する論理から離れる「目的のために手段や犠牲を正当化することを求める。 「目的のために手段や犠牲を正当化することを求める。 とができる限りで、人間は自由である。 人間の自由は必要を超え出たり、目的からはみ出たりすることを求める。 という はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいます。」

そして、それは言葉にするほど簡単ではないということを守ることが、いや謳歌することが出来るのだろう。あてを守ることが、いや謳歌することが出来るのだろう。あてが見つめ直すことによって、私たちは本当の意味で「自由」を守ることが、いや謳歌することが出来るのだろう。あたちが見のが直すことによって、私たちは本当の意味で「自由」をして、それは言葉にするほど簡単ではないということを守ることが、いや謳歌するとのではないということを持つがある。私たちがあれは例外状態だったと肝に銘じる必要がある。私たちがもなく、ぶらぶらがある。



(くうねるめがね)

岸に、吸収されてしまったようだった。 ると、不思議といつもとそう変わらない光景が広がってい うに千代川を埋め尽くしているだろうと思って目線を下げ が口をついて出た。さぞかし大量の水鳥が芋の子を洗うよ で、「めっちゃ飛んでくるやん」と関西弁もどきの独り言 くる水鳥たちの飛来を眺めていた。あまりに飛んでくるの う長い時間橋の上にいたのだが、その間切れ間なくやって た次のグループと、同じようにひゅうひゅうと川面目掛け た。あの水鳥たちはどこへ行ったのか。千代川に、その河 てきたのかな、と考える間もなく、次のグループ、そのま のグループが、千代川にひゅうひゅうと舞い降りる。渡っ て飛んでくる。土日の八千代橋、車は混んでいて、けっこ ふと見上げると、水鳥が空を飛んでいた。十羽くらい

山のふもとを通ったら銀杏の葉がほとんど緑のままで、今 ているが、今年もかつてないほど長かった。十一月中旬に 唐突に冬が来た。長い残暑が一、と毎年のように言っ

> 清々しく季節の移り変わりを知らせてくれた。 ころ、リアルな某昆虫が例年になく身の回りに出没し飛び 替えが間に合わず、何日も凍えて過ごした。某昆虫の種類 年は本当にあったかいから、等と訳知り顔で納得していた 視覚的に某昆虫を受け入れるキャパシティを超えていたと や大量発生のメカニズムについて調べる機会があり、もう のに、銀杏はすでに黄色く色づいた葉を散らしている。衣 か冴えない冬の始まりである。そんな中で、水鳥の飛来は してガムテープを手にする毎日。挙句腰を痛めて、なんだ 回る(だから大量発生と言われているのだが)。心を無に

学生だったか、高校生だったか。日記の宿題がなくなって、 う。誰に見せるでもなく文章を書くようになったのは、中 題と関係なく文章を書くのは、半分以上お絵描きの交換日 入れたノートは罫線のあるお絵描き帖になった。学校の宿 はない。絵を描く方が好きで、漫画雑誌の付録などで手に かったのだろう。 それでも自分の思いや考えをどこかにアウトプットした 記、手紙など、贈る相手のいるものがほとんどだったと思 い頃から作文や感想文が得意で表彰されて、みたいなこと 久しぶりに書きたいことを書きたいように書く。 小さ

とはいえ、日記は三日以上、一年未満でやめてしまうこ26-

なり、書くことは考えることの延長線上にあった。の黒い文字の面積は、ページを繰るごとに小さくなっていの黒い文字の面積は、ページを繰るごとに小さくなっていの黒い文字の面積は、ページを繰るごとに小さくなっていとがほとんどだった。幾度となく挑戦してきたが、日記帳とがほとんどだった。幾度となく挑戦してきたが、日記帳とがほとんどだった。幾度となく挑戦してきたが、日記帳とがほとんどだった。

告のキャッチコピーにも惹かれる。 告のキャッチコピーにも惹かれる。 時の自由律俳句を知り、その感覚を思い出した。無駄なくところに楽しさを見出していたのだと思う。長じて尾崎放ところに楽しさを見出していたのだと思う。長じて尾崎放浮かんでいる情景をどこまで短く表現できるか、みたいないができるが、自分が言いたいこと、の年は二行で書いた。自己満足だが、自分が言いたいこと、の年は二行で書いた。自己満足だが、自分が言いたいこと、の手で必要している。

に変わっているなと感じる。たぶんそれは、文学作品を読考えをいかに言葉に変換してそのまま文字で書き写すか、短く言い表すことよりも、頭の中にある景色や感情の動き、かけると、いいなぁ、と思う。でも自分が書く楽しさは、今でも放哉の句が好きだし、印象に残る短い言葉を見

られないからだと思う。年々話がくどくなっていくことと感情がリアルに呼び起こされるという経験、驚きが忘れっんで感じた、文字を読んでいるだけなのに、身体感覚や27

は、きっと関係ない。

で言葉を紡ぐ。
で言葉を紡ぐ。
で言葉を紡ぐ。
で言葉を紡ぐ。

あきの素生



岩田直樹『橋田邦彦・現象学・アーレントの再解釈 |生活世界における公共性と倫理||』小取舎 2023

一八〇〇円本体

ドラメリア (座敷わらし)

定有堂教室事務局にて予約承り中

『町の本屋という物語』 奈良敏行+三砂慶明

作品社 2024年1月刊行予定

学・アーレ

の再解釈 生活世界における公司が上編月

岩田直樹

橋田邦彦

・現象

	-	
(************************************	町の本屋という物語	HOOKS THESE
町の本屋という物	奈良敏行 (映東四編 島取の定有堂書店は、なぜ日本中から書 店員が見を運び、本好きや本屋好きの 「型地」となったのか。1980年に開店し、 2023年に借しまれつつ都を開じた名店の 店主・発見銀行の33年間の言葉。	Credit State Control of the Control
奈良 物 長城 語	■最初するから、201 1次の中華記念ができます。「おりからので、工事を含まれる。「本の本事には出た 本記書のかった。」 2年度をおより、「おおり」である。「本の本事には、 2年度をおより、「おおり」であるというところもで、本の本事を担じているから、また ファンスので、またださい。「おおり」では、ころもで、本の本事を担じているから、また ファンスので、またださい。「おおり」では、ころもで、また。	第四章 近日至のいて通信を 1年に対する。近年日の中国を生 日本の自分の記され、 日本の自分の記され、 日本の自分の記され、 日本の自分の記され、 日本の自分 人と呼 人と呼
Down National	作品社 FAX03 (3262) 9757	【2024年1月下旬刊行予定】 ※共 由 13/8年

次号はテーマ:「わたしの定有堂」特集号となります。

編集後記…

ってます。「日本の『地の塩』をめぐる旅」。奈良敏行(発行人)|28 うかと悩み中。 店「Title」の辻山さんが定有堂のインタビューを掲載してくださ| よいのか?でもでも、隠していても移り香で露見してしまうのだろ と仲良くしていたら嫉妬されてしまうだろうか、いや浮気を隠せば 近所の猫カフェがついにオープン・行きたい。でも、他の子達 雑誌『熱風』スタジオジブリ発行の 11 月号 12 月号と連続で書 ドラメリア(編集長)